

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

総務 常任委員会

6月16日に議案1件(補正予算第1号)、24日に追加議案1件(東京都知事選挙実施に伴う補正予算第2号)の審査を行いました。

付託された議案2件については、質疑、討論はなく、採決の結果、いずれも全員一致をもって原案を可決すべきものと決しました。

健康福祉 常任委員会

付託案件はなく、6月16日に請願1件の審査を行いました。

補助金削減見直しを求める請願

委員 老人クラブへの補助金削減に当たっての説明が、わかりにくかったと請願者は受けとめているようだが、どのような説明をしたのか。

高齢者福祉課長 補助金を受ける各単位老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動に影響があることですので、できる範囲で説明をさせていただきましたが、はつきりした金額は申し上げられなかったもので、説明が遅かったということになっているとは思いますが、まず、昨年の12月25日のときは、予算が削減されそうだという話、ことしの1月は、削減幅はこのぐらいになるのではないかという話をしました。各単位老人クラブには、3月

1日の時点で減額の内容、金額は申し上げられないので、補助金の積算の考え方をお知らせしました。

委員 市全体で1億7000万円の事業費削減をした中で、老人クラブ関係の経費は幾ら減額になったのか。

高齢者福祉課長 予算ベースで申し上げますと、15年度が3326万円、16年度が3122万円で204万円の減額です。

委員 昨年とことしで積算の仕方、基準が違っていると思うが、積算の考え方はどうなっているのか。

高齢者福祉課長 各単位老人クラブについては、ことしから積算の方法を変えています。基本額の21万円に、会員数に応じて掛ける500円をプラスすると、前年度600回以上の活動をしているところには5000円を加算し、連合会については、昨年度よりもマイナス20万円ということとで積算しています。

委員 もう少し話し合いの場と同時に、どういう形でフォローができるのかをもっと攻めていくべきではないかというふうに行政側に伝えたいと思います。9月議会、12月議会とあるわけですから、一度継続した上で、その間、どういう話し合いができたかによつて協議をすればいいのではないか。そういう思いで継続としていただきたい。

文教社会 常任委員会

6月15日に議案5件、請願2件の審査を行いました。

町田市学童保育クラブ設置条例の一部改正

委員 みわっこ学童保育クラブについて、いつから開業されるのか。

児童青少年課担当課長 17年4月1日を予定しています。

委員 建物の広さや職員の体制は、これまでの直近の学童保育クラブと同じということになるのか。

児童青少年課担当課長 今育成に使っている面積が95・84平方メートル、それから新しい施設は159・07平方メートルとかなり大きくなりますので、今の面積に比べて十分確保できているものと思います。職員の体制は、条例に基づいて適正な職員を配置していきます。

委員 学童保育クラブを学校内へ移転することについて、従来は学校内に法的な位置づけの違うこのような施設を入れることは非常に困難が伴うような印象を持っていたが、ここに来て何か規制や環境面で変わってきている点があるのか。

児童青少年課担当課長 大きく変わった契機としては、平成26年7月31日に示された「放課後子ども総合プランについて」という通知の中に、学校の余裕教室の活用を進めるべきだという国の方針があります。法的な面では、幾つか調整等が必要な面はありますが、適法な状態で学童保育クラブを校内に移していくことを進めてきたところです。

中学生学習支援促進事業

委員 ミライシードというのだが、これは同様の学習支援ソフトもある中で、なぜこれを選んだのか、それともこ

のミライシードしかないからこれを選んだのか。

指導室長 タブレットの中に入れる学習に関するソフトというのは幾つかあります。ただ、このミライシードが、

幾つか研究している中で最も中学生が使いやすいだろうと判断しました。その判断の一つとして、ミライシードには子どもたちになじみのある小学校版の東京ベータシック・ドリルが入っています。中学生の学習支援が必要な子どもたちの中には、小学校に戻って学習することが必要になってくる子どもがいますので、そういう意味でも使いやすいだろうと判断しました。

建設 常任委員会

6月15日に議案4件、請願1件の審査を行いました。

小野路球場夜間照明施設設置工事請負契約

委員 図面等を見ると、くいが大半の領域を占めている。電気工事として出しているが、土木工事で出したほうが安いのか、その辺の見解は。

営繕課担当課長 今回、照明の配光が一番重要になります。そのため、照明の配置計画が一番重要になりますので、鉄塔を立てるには土木事業者も中に入っていたと思いますが、電気工事として出しています。

委員 6億円近いお金をかけるが、照度でできる試合が違ふということだが、どれくらい規模の試合を見込み、どれくらい使われる状況が見込めるのか、どのような問題

があつて、必要になったのか。文化スポーツ振興部次長 今回の整備により、21時までスポーツが行えるようになることと、夏の甲子園予選会ですが、今後1日3試合組むことが可能になると聞いています。大きな大会を招致することだけではなく、市民の方のスポーツの活動時間が延びるというのが主眼です。

公園緑地課長 照度によってどの程度の試合ができるかですが、硬式野球は3種類の区分があり、今回区分2を使っています。一般的な高校野球の大会ですとか、観客のいる一般的な大会です。

搬入出車両等による安全確保を含めた地域住民の合意及び代替え地の合意 迄東京都との『町田市金森六丁目1406番1外の地下に設置する調節池に関する基本協定書』の凍結を求める請願

委員 協定書の締結日は平成27年3月27日でした。今年5月22日に説明会が行われたが、地域住民に説明する前に、なぜ協定書を締結したのか。

下水道部長 用地が特定できなければ、事業説明会はできない。境川の調節池本体又は附帯する河川管理施設の協定を結んだということです。

委員 請願者の思う意味での財産は、グラウンドが使えるとか、お祭りができるとか、防災訓練ができるとか、そういう意味だと思っているが、市としてはどう考えるか。

下水道部長 もちろんスポーツは大事で、代替地を見つけていることも大事だと思いますが、やはり近年の豪雨に対して対策をとっていかなければならぬと思っています。

本会議の 質疑から

条例・その他

第53号 町田市子ども発達センター条例の一部を改正する条例

議員 改正の目的及び第1条に福祉型児童発達支援センターを加える理由は何か。

子ども生活部長 目的ですが、すみれ教室が児童福祉法に規定する保育所等訪問支援事業及び障害児相談支援事業を実施できるようにするため

の改正です。今回の条例改正は、すみれ教室の児童発達支援センターとしての機能を改めて整備するもので、機関としての位置づけを明確にするため、児童福祉法で分類されている医療型、あるいは福祉型について、第1条の設置項目に「福祉型児童発達支援センター」を加えたものです。

議員 実施が想定される保育所等訪問支援事業及び障害児相談支援事業等とは。また、その目的は。

子ども生活部長 保育所等訪問支援事業とは、支援が必要なお子さんが、保育園等の集団生活に適応していけるようにするため、保育園、幼稚園、認定こども園等を訪問して専門的な支援が必要なお子さんに対して療育を行うものです。保育園等に通園しながら療育を受けられるようになります。また、障害児相談支援事業等とは、障害児相談支援事業と計画相談支援のことです。支援を必要としているお子さんの特徴やニーズを捉

予算

第51号 平成28年度(2016年度)町田市一般会計補正予算(第1号)

議員 中学生学習支援促進事業はどのような事業か。

学校教育部長 国の地域未来塾の推進にかかる補助制度を活用して、放課後学習教室にICT機器などを先行導入し、学習支援が必要な生徒に対して学習環境を整え、より充実した指導を行う事業です。対象は、町田第三中学校と忠生中学校です。対象教科は英語と数学とし、個別学習に効果的とされるタブレット端末及び学習支援ソフトのミライシードを活用します。生徒一人一人の進度に合わせた学習、生徒の課題に応じた効果的な学習が期待できます。

え、自立した日常生活、または社会生活を営むことができるように発達の状況を確認し、保護者の意向などを考慮してお子さんの発達のために一番有効な療育等のサービスを考えて障害児支援利用計画の作成を目的としています。

第56号 町田市立鶴川第一小学校給食棟改築他工事請負契約

議員 工事及び解体のスケジュールはどうか。

営繕担当部長 敷地東側のプレハブ校舎、これを16年9月までに解体します。同時に、既存体育館裏にある西校舎を解体し、17年1月から新しい給食棟の建設に着手します。その後、中央校舎、東校舎及び六角校舎の解体を順次行い、新しい給食棟が17年11月に完成した後、既存の給食棟を18年3月までに解体します。